

昭和52年度漁況海況予報事業

川 口 哲 夫

実 施 状 況

1 実施機関および担当者名

鳥取県水産試験場

境港分場長 佐 野 茂

研究員 川 口 哲 夫

第一鳥取丸乗組員 13名

2 沿岸定線調査

イ、実施調査船

船 名 第一鳥取丸

船長名 早 野 一 成

乗組員数 13名

調査船要目

屯数 99.14トン、馬力400HP、速力8.5ノット、測深機 3台、ワイヤー長1,500米
魚群探知機

機 種 産研製 T・L-16(379)型

周波数 28 KC、75 KC、200 KC

測深範囲 0～1,600 m、記録紙湿式

その他の観測機器

B・T、防・被圧転倒寒暖計、電気水温計、透明度板、転倒採水器、(特)ネット、
Norpac-Net、(稚)ネット長さ45m、口径130cm

ロ、観測定線概要図(別図のとおり)

ハ、調査項目

気象(天候、風向、風力、気温、気圧、雲量、雲形)

海象(水色、透明度、波向、波浪、ウネリ、海深、汐目、海鳥、海光、変色水、急潮、海鳴、海流)

魚卵、稚魚、プランクトンの採集

測温(観測層 0, 10, 20, 30, 50, 75, 100, 150, 200, 300, m)

塩検用採水(観測層 同上)

ニ、実施概要

調査年月日	船名	測点数	欠測点数	調査員名	備考
4月1日～3日	第1鳥取丸	16	0	早野一成 (川口哲夫)	
5月6日～9日	"	16	0	"	
9月3日～4日	"	7	9	"	
10月4日～5日	"	14	2	"	
11月5日～6日	"	14	2	"	
3月2日～3日	"	14	2	"	

3 漁場一斉調査

イ、実施調査船

沿岸定線調査と同じく第1鳥取丸を使用し調査船要目も同様である。

ロ、観測定線概要図

別図のとおり

ハ、調査項目

気象・海象・卵稚仔・プランクトン採集・測温・塩検用採水については沿岸定線観測と同じであるが、この他にスルメイカ釣獲試験を実施した。

ニ、実施概要

調査年月日	船名	測点数	欠測点数	調査員名	備考
8月31日～9月3日	第1鳥取丸	21	1	川口哲夫	

調査研究結果

1 海洋状態の推移と特徴

4月：4月上旬の山陰沖合の海況は、表層水温が沿岸部では12～14℃、沖合では8～11℃を示し、50m層では沿岸部で11～12℃、沖合で8～10℃台であった。暖水域は日御碕沖より隠岐島の北側に張出し、また、網代沖にも弱い張出しがみられる。

島根沖冷水域、山陰若狭沖冷水域ともに強く竹島、オキ堆沖合より隠岐島の西側と東側にそれぞれ強く張り出していた。本年の水温値を平年水温と比較すると表層、50m層ともに1～2℃低めで経過した。

5月：5月上旬の海況は、表層水温が沿岸部で14～15℃、沖合で11～14℃台を示し、50m層水温は沿岸部で11～15℃、沖合で9～11℃であった。暖水域は隠岐島の東側にあつて北東に張り出しており、冷

水域は隠岐島北方に強く張り出し、オキ堆上にも強い冷水域があって全般的に沖合の冷水域が強勢であった。平年水温に比較すると表層では沿岸部でやや低め、沖合では1～2℃低め、50m層では沿岸部で平年並、沖合では1～2℃低めに経過した。

6月：6月上旬の海況は表層水温が沿岸部で17～19℃、沖合で14～17℃台を示し50m層では沿岸部で14～16℃、沖合では8～14℃台であった。暖水域は隠岐島北方と竹島海域に張り出しその勢力は強い。山陰・若狭沖冷水域はオキ堆の北側より隠岐島東側に張り出しており、一方、島根沖冷水域はウツリヨウ島沖合より日御崎沖に向かって強く張り出していた。

水温の平年差は表層では1～2℃低め、50m層では暖水域上で平年並か1℃低めを示しているが、冷水域上では2～4℃低めと極めて低温で経過した。

7月：7月中旬の山陰沖における海況は、表層水温が沿岸部で23～24℃、沖合では22～23℃を示し、50m層では沿岸部で15～19℃、沖合では暖水域上で13～16℃、冷水域上では9～13℃であった。暖水域は隠岐島海域より北方に強く張り出しており、一方、冷水域はオキ堆上に山陰若狭沖冷水域がありその勢力は極めて強勢であり、島根沖冷水域も竹島海域より日御崎沖に強く張り出していた。

8月：8月上旬の海況は、表層水温が沿岸部で28℃、沖合で27℃を示し、50m層では沿岸部で18～23℃、沖合では11～17℃であった。暖水域は隠岐島近海を中心に北方に強く張り出し、一方、冷水域は島根沖冷水域が竹島沖合より隠岐島北西海域に張り出し、山陰・若狭沖冷水域はオキ堆上においてその勢力は強く、若狭湾沖から鳥取県沖合に強く張り出していた。

平年水温に比較すると表層では1～2℃高目であるが、50m層では暖水域内でやや高目であったが、冷水域上では1～4℃低目に経過した。

9月：表層水温は沿岸・沖合ともに25℃台、50m層では沿岸部で16～20℃、沖合では暖水域上で16～18℃、冷水域上では12～15℃台であった。暖水域は隠岐島近海より北方に張り出しており、一方、冷水域は、山陰・若狭沖冷水域がオキ堆の南側において鳥取県沖に強く張り出し、島根沖冷水域は竹島海域より隠岐島北西に張り出していた。

水温の平年差は表層で1℃低め、50m層では2～3℃低めであるが、沖合の暖水域上では1℃高めであった。

10月：表層水温は沿岸部で23℃、沖合では21～22℃であり、50m層では沿岸部で20～23℃、沖合では15～20℃台であった。暖水域は日御崎沖より隠岐島北側に張り出しており、島根沖冷水域は竹島沖より浜田沖に強く張り出し、一方、山陰・若狭沖冷水域はオキ堆の南側を広く覆い山陰・若狭沖沿岸に張り出していた。

水温の平年差は表層ではほぼ平年並であるが、冷水域上では1℃低め、暖水域上では1℃高めを示し、50m層では暖水域で1～2℃高め、冷水域上では1～4℃低めで経過した。

11月：11月上旬の海況は表層水温が沿岸で21～22℃、沖合では20℃台を示し、50m層では沿岸で21～

22℃、沖合では暖水域上で20℃、冷水域上では15～19℃台であった。暖水域は隠岐島西側より北東に張り出しており、冷水域は山陰若狭沖冷水域がオキ堆海域より隠岐島東側と鳥取・兵庫県の沿岸に張り出し、一方、島根沖冷水域は竹島より浜田沖合に強く張り出していた。

水温の平年差は0mで1～2℃高目、50m層では暖水域上で1～2℃高目、冷水域では1～2℃低めに経過した。

3月：3月上旬の海況は表層水温が沿岸部で11～12℃、沖合では9～10℃台、50m層では沿岸部で11～12℃、沖合で10℃台を示している。暖水域は日御碕より隠岐島近海に張り出しており、冷水域は竹島より隠岐島の西側及び北側にあり、一方、オキ堆海域より網代沖に張り出している。

水温の平年差は表層で平年並に経過しているが冷水域では1～2℃低目の海域もわずかにみられ、50m層では沿岸部で平年並、隠岐島の西側～北側では1℃低目で経過した。

2 主要魚種の漁況の推移と特徴

4月

大・中型巾着網：漁獲量は6,310トン、1日1統当り28.4トン、魚種の割合はマイワシ67%、サバ26%、カタクチ2%、アジ2%であった。4月はサバ魚鮮の来遊が少なく、かわりにマイワシの産卵魚群が多量に漁獲されたが、漁獲量は豊漁であった昨年より10,960トンも減少した。

小型巾着網：漁獲量は3,202トン、1日1統当り31トン、魚種の割合はマイワシ85%、カタクチ8%、サバ5%であり、中羽イワシ主体に漁況は好調に経過した。

5月

大・中型巾着網：漁獲量は26,142トン、1日1統当り62トン、魚種の割合はサバ61%、マイワシ33%、ウルメ2%、アジ1%であった。5月に入って小サバ、中羽イワシが大量に来遊し5月としては最高の漁獲量を示した。

小型巾着網：漁獲量は10,018トン、1日1統当り40トン、魚種の割合はマイワシ78%、サバ18%、ウルメ3%、カタクチ2%であり、中羽イワシ主体に漁況は極めて好調に経過した。

スルメイカ漁業：漁獲量は生船が434トン、1航海当り1.6トン、冷凍船は104トンで1航海当りの漁獲量は6.1トンの合計538トンであった。本年は秋生れ魚鮮の資源量が少なく、不魚であった昨年を下廻り、漁況は極めて不振であった。

6月

大・中型巾着網：漁獲量は10,921トン、1日1統当り39トン、魚種の割合はマイワシ60%、サバ25%、ウルメ15%であり、先月に比較してサバが急減したが、マイワシ中羽は好漁がつづいていた。

小型巾着網：漁獲量は3,759トン、1日1統当り22トン、魚種の割合はマイワシ68%、サバ13%、ウルメ12%、カタクチ2%、アジ2%であり、マイワシ中羽主体に漁況は好調に経過した。

スルメイカ漁業：漁獲量は生船が804トン、1航海当り3.2トン、冷凍船が282トン、1航海当り7.4トンの合計1,086トンであった。日本海沖合のスルメイカ漁は6月にはいっても漁況は好転せず漁獲量は昨年の約30%と近年では最低であった。

7月

大・中型巾着網：漁獲量は14,678トン、1日1統当り46トン、魚種の割合はマイワシ59%、サバ29%

ウルメ12%、カタクチ3%であった。7月に入り魚群の北上にともなって、漁場がオキ堆南部海域へと沖合に移動したが、マイワシ中羽、小サバ主体に漁況は極めて好調に経過した。

小型巾着網：漁獲量は3,878トン、1日1統当り13トン、魚種の割合はマイワシ71%、カタクチ15%サバ5%、ウルメ4%、アジ4%であり、マイワシ小・中羽主体に漁況は好調であった。

スルメイカ漁業：漁獲量は生船が1,225トン、1航海当り4.6トン、冷凍船が870トン、1航海当り14トンの合計2,095トンであり、総漁獲量、1航海当りともに近年の最低を示し漁況は極めて不調であった。

8月

大・中型巾着網：漁獲量は1,993トン、1日1統当り21トン、魚種の割合はマイワシ75%、ウルメ12%、サバ9%、カタクチ3%であり、マイワシ中羽主体の漁況であったが夏枯期に入り漁獲量は先月より急激に減少した。

小型巾着網：漁獲量は1,297トン、1日1統当り12トン、魚種の割合はマイワシ46%、その他(マルゴ・ハマチ)38%、カタクチ6%、サバ3%、ウルメ3%、アジ3%で小羽イワシ、マルゴ、ハマチ主体の漁況であったが、漁獲は先月に比べて減少した。

スルメイカ漁業：漁獲量は生船が1,503トン、1航海当り5.5トン、冷凍船が538トン、1航海当り17.4トンの合計2,041トンであった。漁獲量は昨年より半減し、生船1航海当りも昭和35年以後の最低であり漁況は低調であった。

9月

大・中型巾着網：漁獲量は7,316トン、1日1統当り32トン、魚種の割合はマイワシ72%、ウルメ13%カタクチ12%、サバ1%であった。本月は漁場が沖合海域に形成し、マイワシ中羽主体に漁況は好調であった。

小型巾着網：漁獲量は1,599トン、1日1統当り10.5トン、魚種の割合はマイワシ57%、ウルメ16%、カタクチ12%、アジ3%であり小羽イワシ主体に漁獲されたが漁況はやや低調であった。

スルメイカ漁業：漁獲量は生船が1,295トン、1航海当り5.2トン、冷凍船が520トン、1航海当り、15.8トンの計1,927トンであり先月につづいて漁況は低調に経過した。

10月

大・中型巾着網：漁獲量は2,380トン、1日1統当り15トン、魚種の割合はカタクチ29%、マイワシ25%、ウルメ22%、サバ6%、アジ8%、その他15%であり、9月につづきカタクチ、マイワシ、ウルメの0才魚主体であったが、魚群の来遊が悪く漁況は低調に経過した。

小型巾着網：漁獲量は1,295トン、1日1統当り8.9トン、魚種の割合はその他40%、カタクチ20%、ウルメ20%、アジ14%、サバ6%であり、ハマチ・マルゴ主体にカタクチ・ウルメ中小羽を漁獲した。

スルメイカ漁業：漁獲量は生船が723トン、1航海当り6.4トン、冷凍船が394トン、1航海当り13.1トンの計1,178トンである。本月は漁船の大部分が黄海に出漁に出漁し境港への入港船が少なかった。また、生船1航海当りでは例年を上廻る漁獲を示した。

11月

大・中型巾着網：漁獲量は1,439トン、1日1統当り22.8トン、魚種の割合はサバ74%、ウルメ10%アジ8%、その他7%であった。

11月は隠岐島及び鳥取県沖合には魚鮮の来遊が極めて少なく、大型巾着網は浜田沖・見島沖・新潟沖

などに出漁した。また、サバの水揚量の大部分が新瀉沖より搬入された。

小型巾着網：漁獲量は650トン、1日1統当り8.9トン、魚種の割合はその他（ハマチ・マルゴ）40%、カタクチ20%、ウルメ20%、アジ14%、サバ6%であり漁況は極めて低調であった。

スルメイカ漁業：漁獲量は生船が723トン、1航海当り5.4トン、冷凍船が723トン、1航海当り13.1トンの計1,446トンで総水揚では昨年・1昨年を上廻り生船1航海当りも例年並であった。

12月

大・中型巾着網：漁獲量は32,936トン、1日1統当り161トン、魚種の割合はサバ96%、マイワシ3%、ウルメ1%であり、12月に入って隠岐島近海へサバ魚鮮が大量に来遊し、12月としては過去最高の漁獲を示し漁況は極めて好調に経過した。

小型巾着網：漁獲量は1,131トン、1日1統当り13トン、魚種の割合はカタクチ44%、サバ26%、ウルメ22%、アジ4%、マイワシ1%であった。本月は美保湾内での船曳網によるカタクチの水揚が好調であった。

スルメイカ漁業：漁獲量は生船が236トン、1航海当り35トン、冷凍船が375トン、1航海当り9.1トンの計611トンであった。本年は冬生れ群の南下資源が少なく漁況は不調であった。

1月

大・中型巾着網：漁獲量は11,633トン、1日1統当り122トン、魚種の割合はサバ89%、マイワシ8%、ウルメ1%であり、サバ主体に中羽イワシを混獲され荒天が多かったにもかかわらず漁況は好調であった。

小型巾着網：漁獲量は437トン、1日1統当り10トン、魚種の割合はカタクチ77%、ウルメ14%、マイワシ6%で美保湾に出漁する船曳網によるカタクチの漁獲が好調であった。

スルメイカ漁業：漁獲量は生船が80トン、1航海当り15トン、冷凍船が172トンで1航海当り14.3トンの計252トンであり先月につづいて冬生れ群の来遊が少なく漁況は低調に経過した。

2月

大・中型巾着網：漁獲量は9,121トン、1日1統当り70トン、魚種の割合はサバ94%、マイワシ3%アジ2%であり豆・小サバ主体の漁況であった。

小型巾着網：漁獲量は351トン、1日1統当り12トン、魚種の割合はマイワシ68%、カタクチ28%、サバ2%であった。荒天のため出漁日数が少なかったが、出漁した日にはマイワシ中羽の好漁がみられた。しかし、美保湾内の船曳網によるカタクチの漁獲は急減した。

スルメイカ漁業：漁獲量は生船が47トン、1航海当り0.7トン、冷凍船が133トンで1航海当り6.9トンの総計180トンで漁況は極めて低調に経過した。

3月

大・中型巾着網：漁獲量は7,533トン、1日1統当り66トン、魚種の割合はサバ61%、マイワシ38%アジ1%で小サバ主体にマイワシ中羽が漁獲された。

小型巾着網：漁獲量は2,519トン、1日1統当り28トン、魚種の割合はマイワシ80%、カタクチ16%サバ4%で漁況はマイワシ中羽主体に好調に経過した。

3 昭和52年度における主要魚種資源の評価

イ、マアジ

昭和52年に大・中型巾着網で漁獲されたマアジの総漁獲量は1,276トンで全漁獲量に占める割合は0.7%であり昨年より1,775トン減少した。本年は2月に693トンと最も多かったが、4～5月の産卵群、11月の南下群など漁獲が認められたが100～200トンとその漁獲量は他魚種に比較して極めて少ない。

山陰沖合におけるアジ資源は、昭和34年に56,000トンピークとして次第に減少し昨年は3,052トンであったが、本年度は1,276トンと過去最低の漁獲を示し、この海域におけるマアジ資源は極めて低水準である。

ロ、マサバ

昭和52年、大・中型巾着網で漁獲されたマサバの漁獲量は107,726トンで、総漁獲量に占める割合は69%であった。季節的に漁獲の多かったのは12月～2月の冬期の越冬群と5月～7月の産卵群であり、8月～11月の夏期と秋期には漁況は極めて悪かった。

漁獲の中心となったのは昭和51年級群であったが、50年級・52年級群も混獲された。隠岐島漁場におけるマサバの漁獲量経年変動は昭和45年度より急激に増加し、昭和52年(1月～12月)には107,726トンと昨年を上廻り史上最高の漁獲量を示し、資源的には極めて高い水準であった。

ハ、マイワシ

昭和52年の境港におけるマイワシの漁獲量(1月～12月)は大・中型巾着網が38,379トン、小型巾着網が19,009トンの合計57,388トンで昨年よりやや減少したものの漁況は好調であった。季節的には4月～7月が昭和51年級群主体に50年級群が混獲され漁獲量も年間の大部分を占め極めて多く、次いで8月～9月には52年級が漁獲された。しかし、10月以後は魚群が他海区へ移動し漁獲は極めて少ない。マイワシ資源の経年変動は昭和48年よりしだいに増加し、昨年、本年ともその資源は高水準で経過した。

ニ、ウルメイワシ

昭和52年の境港におけるウルメイワシの漁獲量は、大・中型巾着網が5,940トン、小型巾着網では1,814トンの合計7,754トンであり、季節的には5月～12月まで漁獲されているが、最も多かったのは6月と7月であった。近年におけるウルメイワシの資源動向は増加が認められず低水準で推移している。

ホ、カタクチイワシ

大・中型巾着網では2,128トン、小型巾着網では4,131トンの合計6,259トンを漁獲している。季節的には大型巾着網が3～4月と9～10月に漁獲が多く、小型巾着網が1～4月、9～12月であるが12～3月までの冬期は美保湾における船曳網により大部分が漁獲された。

山陰沖合におけるカタクチイワシの資源、水準は近年低水準で推移しているが、本年は昨年と比較してやや増加している。

ヘ、スルメイカ

昭和52年の境港における沖合スルメイカの漁獲量は、生船が7,653トン、1航海平均漁獲量は3.9トン冷凍船では4,220トン、1航海平均漁獲量12.2トンで合計11,873トンで昨年より38%も減少した。漁獲量の経年変化については昭和47年を最高としてその後毎年減少をつづけ、本年は特に減少が著しく、いままでの最低であった。スルメイカの資源水準については、秋生れ群が急減し、冬生れ系群は資源状態が極めて悪かった。

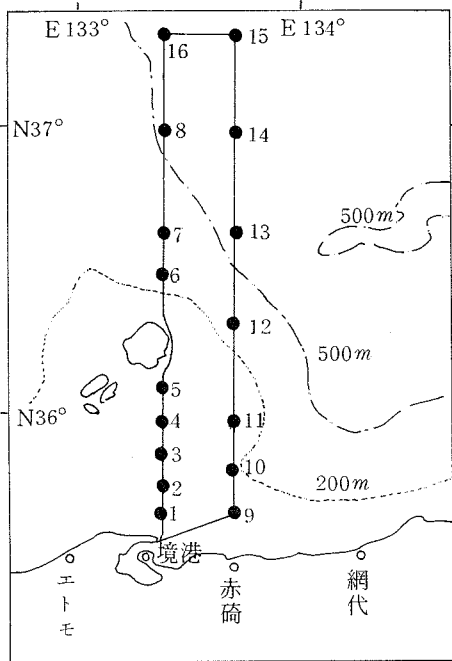


図-1 沿岸定線定地点図

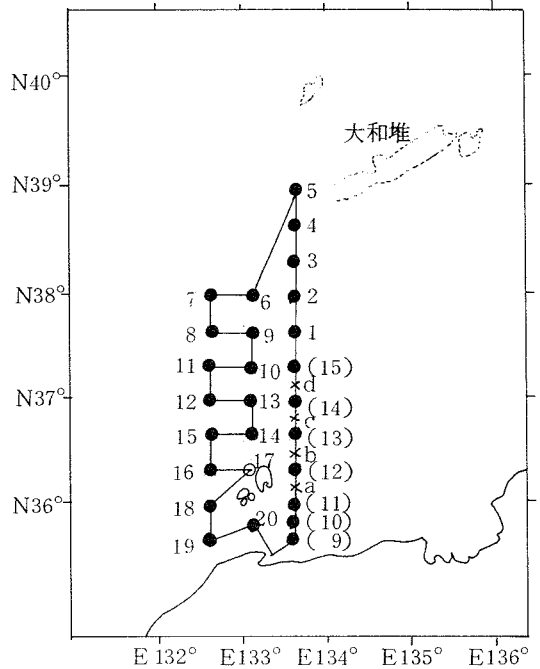


図2 スルメイカ漁場一斉調査定地点図

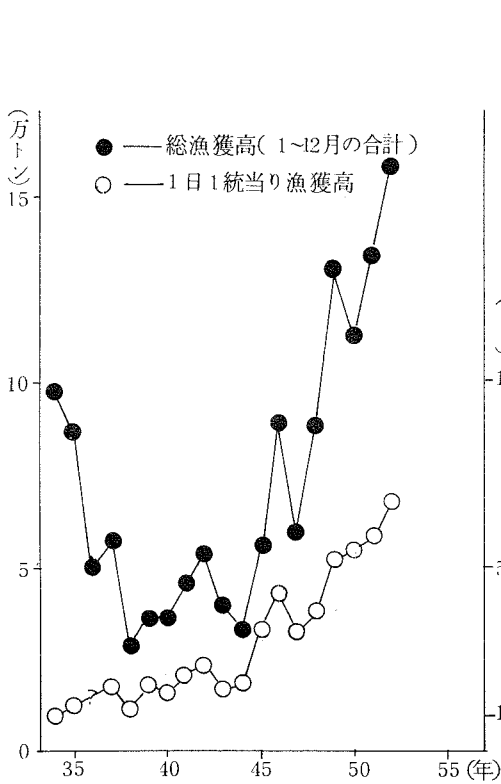


図3 境港における巾着網漁獲量の経年変化 (大・中型巾着網)

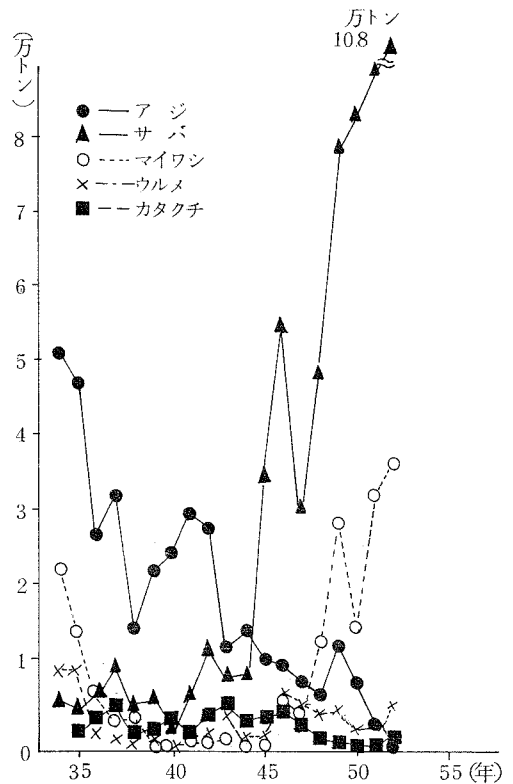


図4 境港における巾着網の魚種別経年変化 (大・中型巾着網)

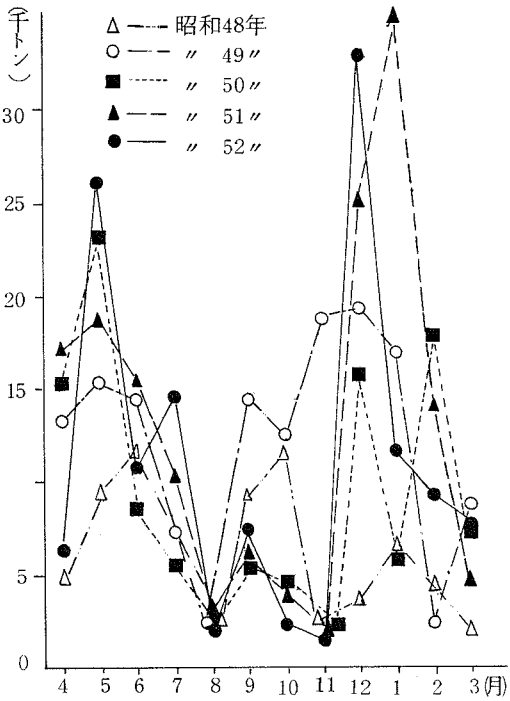


図5 境港における巾着網月別総漁獲高 (大・中型)

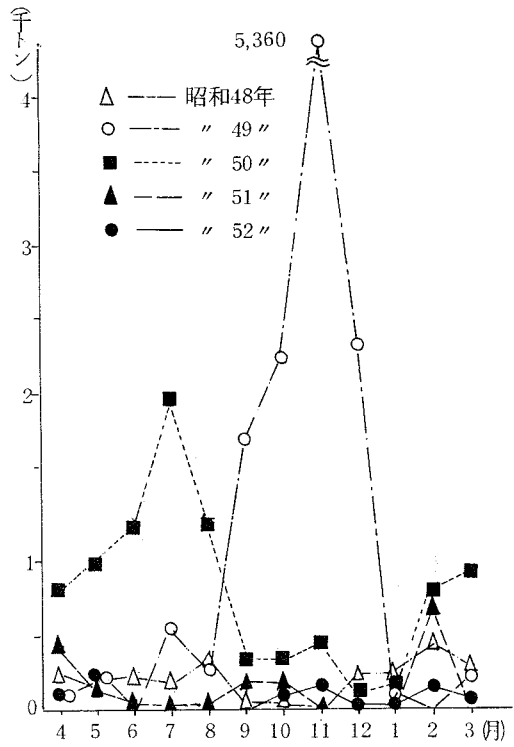


図6 境港におけるアジの月別漁獲高 (大・中型)

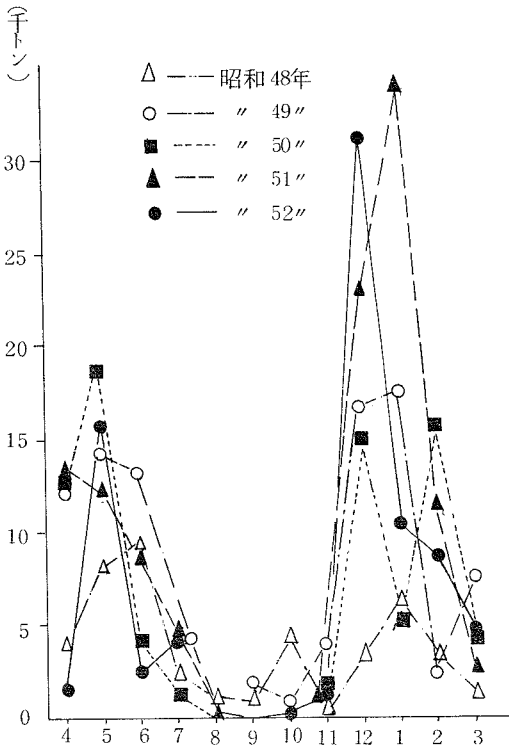


図7 境港におけるサバの月別漁獲高 (大・中型)

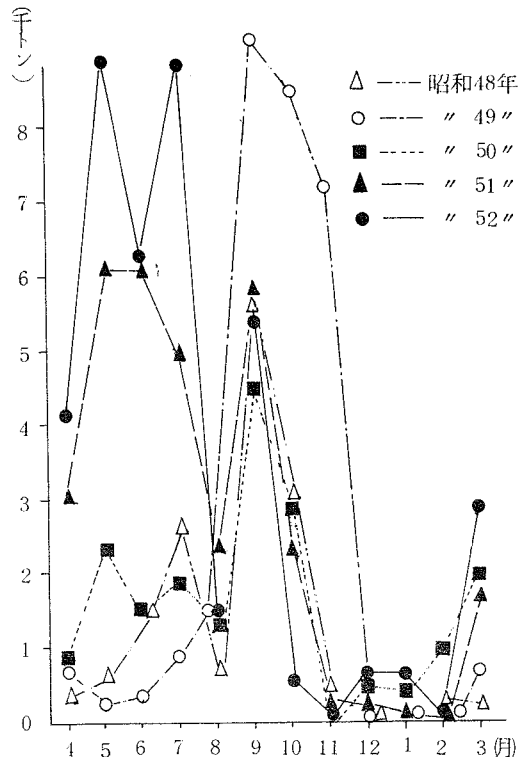


図8 境港におけるマイワシの月別漁獲高 (大・中型)

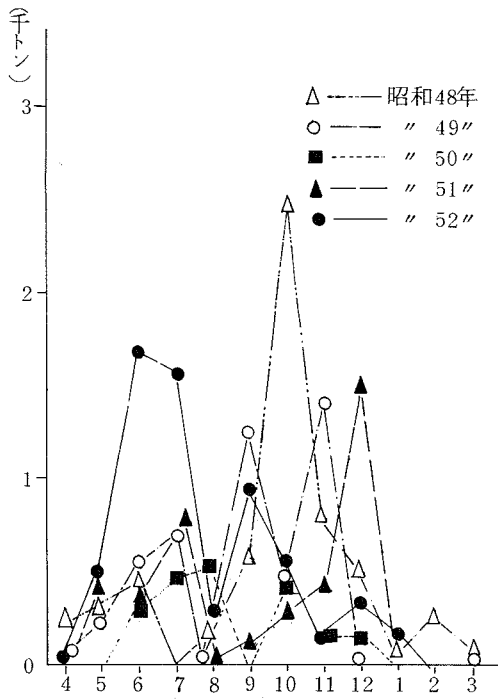


図9 境港におけるウルメイワシの月別漁獲高 (大・中型)

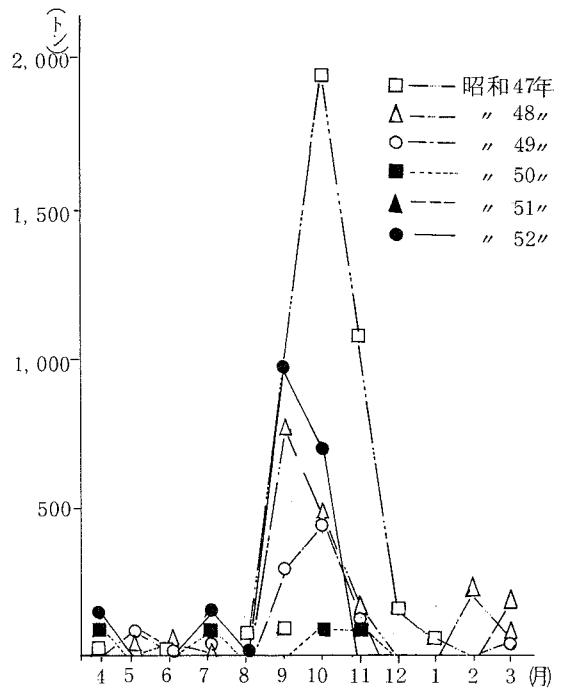


図10 境港におけるカタクチイワシの月別漁獲高 (大・中型)

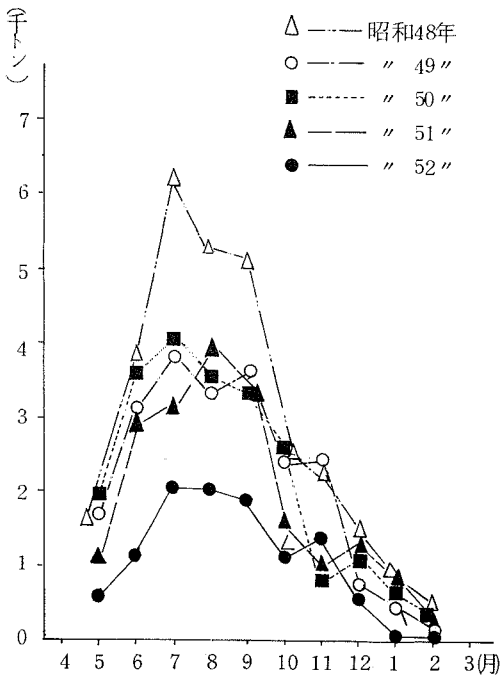


図11 境港におけるスルメイカ月別漁獲高

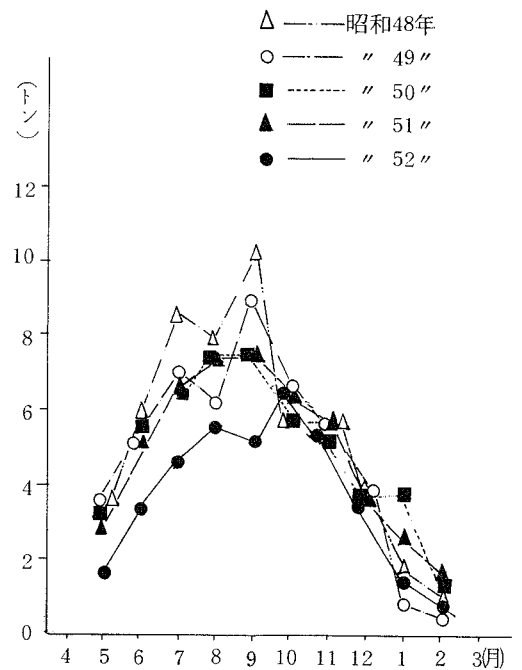


図12 境港におけるスルメイカ生船1航海漁獲量

表1 1977年境港市着網漁獲高(大・中型)

(注 ()内は%)

月	かたくち		まいわし		うるめ		さ		あ		その他	
	漁獲高 (トン)	1日1統 当り(トン)	漁獲高 (トン)	1日1統 当り(トン)	漁獲高 (トン)	1日1統 当り(トン)	漁獲高 (トン)	1日1統 当り(トン)	漁獲高 (トン)	1日1統 当り(トン)	漁獲高 (トン)	1日1統 当り(トン)
1	0		116 (1)	0.8	0		34,737 (99)	239.6	5		2	
2	34	0.3	92 (1)	0.7	0		12,801 (91)	95.5	693 (5)	5.2	372 (3)	2.8
3	175 (4)	3.3	1,676 (36)	31.6	0		2,730 (59)	51.5	8		7	
4	134 (2)	0.6	4,234 (67)	19.1	1		1,648 (26)	7.4	101 (2)	0.5	192 (3)	0.9
5	12	-	8,803 (33)	21.0	490 (2)		15,887 (61)	37.6	217 (1)	0.5	733 (3)	1.7
6	0	-	6,500 (60)	23.4	1,685 (15)		2,683 (25)	9.7	2		51	0.2
7	117 (1)	0.4	8,609 (59)	27.2	1,577 (11)		4,296 (29)	13.6			79	0.2
8	58 (3)	0.6	1,494 (75)	15.6	230 (12)		187 (9)	1.9	10	0.1	14 (1)	0.1
9	914 (12)	4.0	5,280 (72)	23.4	985 (13)		97 (1)	0.4	3		37 (1)	0.2
10	681 (29)	4.2	583 (25)	3.6	531 (22)		148 (6)	0.9	91 (4)	0.6	346 (15)	2.1
11	3		22	0.3	136 (10)		1,055 (74)	16.7	120 (8)	1.9	103 (7)	1.6
12	-		970 (3)	4.7	305 (1)		31,457 (96)	153.4	26	0.1	178	0.7
計	2,128 (1)	0.9	38,379 (24)	16.5	5,940 (4)		107,726 (69)	46.4	1,276	0.5	2,114 (1)	0.9

月	総漁 獲高 (トン)	延出漁 統 数	1日1統 当り(トン)
1	34,860	145	240.4
2	13,992	134	104.4
3	4,596	53	86.7
4	6,310	222	28.4
5	26,142	422	61.9
6	10,921	277	39.4
7	14,678	317	46.3
8	1,993	96	20.8
9	7,316	226	32.4
10	2,380	163	14.6
11	1,439	63	22.8
12	32,936	205	161.1
計	157,563	2,323	67.8

表2 1977年境港巾着網漁獲高(小型)

(注 ()内は%)

月	かたくち		まいわし		うるめ		さ		あ		その他	
	漁獲高 (トン)	1日1統 当り(トン)	漁獲高 (トン)	1日1統 当り(トン)	漁獲高 (トン)	1日1統 当り(トン)	漁獲高 (トン)	1日1統 当り(トン)	漁獲高 (トン)	1日1統 当り(トン)	漁獲高 (トン)	1日1統 当り(トン)
1	425 (99)	12.1	31 (1) %	0.1								
2	794 (81)	14.7	176 (18)	3.3				9 (1)	0.2	1		
3	634 (36)	9.6	1,061 (61)	16.1			50 (3)	0.8	1			
4	256 (8)	2.5	2,721 (85)	26.4			159 (5)	1.5	15		51 (2)	0.5
5	186 (2)	0.7	7,704 (78)	30.5	264 (3)	1.0	1,766 (18)	7.0	48		50	0.2
6	69 (2)	0.4	2,568 (68)	14.7	452 (12)	2.6	495 (13)	2.8	82 (2)		93 (2)	0.5
7	586 (15)	2.0	2,746 (71)	9.3	148 (4)	0.5	210 (5)	0.7	164 (4)		24 (1)	0.1
8	86 (6)	0.8	589 (46)	5.5	46 (3)	0.4	46 (3)	0.4	36 (3)		494 (38)	4.6
9	200 (12)	1.3	908 (57)	6.0	263 (16)	1.7	19	0.1	47 (3)		162	1.1
10	265 (20)	1.8	494 (38)	3.4	260 (20)	1.8	20 (2)	0.1	59 (5)		197 (15)	1.4
11	129 (20)	1.8	4		129 (20)	1.8	36 (6)	0.5	90 (14)		262 (40)	3.6
12	501 (44)	5.6	7 (1)	0.1	252 (22)	2.8	293 (26)	3.3	46 (4)		32 (3)	0.4
計	4,131 (14)	2.7	19,009 (63)	12.3	1,814 (6)	1.2	3,094 (10)	2.0	597 (2)		1,366 (5)	0.9

月	総漁獲 高(トン)	延出漁 統数	1日1統 当り(トン)
1	456	35	13.0
2	98.0	54	18.1
3	1,746	66	26.5
4	3,202	103	31.1
5	10,018	253	39.7
6	3,759	175	21.5
7	3,878	295	13.1
8	1,297	108	12.0
9	1,599	152	10.5
10	1,295	145	8.9
11	650	73	8.9
12	1,131	89	12.7
計	30,011	1,548	19,386

表3 1978年境港市着網漁獲高(大・中型)

(注) ()内は%

月	かたぐち		まいわし		うるめ		さ		あ		じ		その他	
	漁獲高 (トン)	1日1統 当り(トン)	漁獲高 (トン)	1日1統 当り(トン)	漁獲高 (トン)	1日1統 当り(トン)	漁獲高 (トン)	1日1統 当り(トン)	漁獲高 (トン)	1日1統 当り(トン)	漁獲高 (トン)	1日1統 当り(トン)	漁獲高 (トン)	1日1統 当り(トン)
1			889 (8)	9.4	105 (1)	1.1	10,337 (89)	108.8	35	0.4	266 (2)	2.8		
2			294 (3)	2.3	1		8,589 (94)	66.1	137 (2)	1.1	100 (1)	0.8		
3	14		2,881 (38)	25.1			4,567 (61)	39.7	50 (1)	0.4	14	0.1		

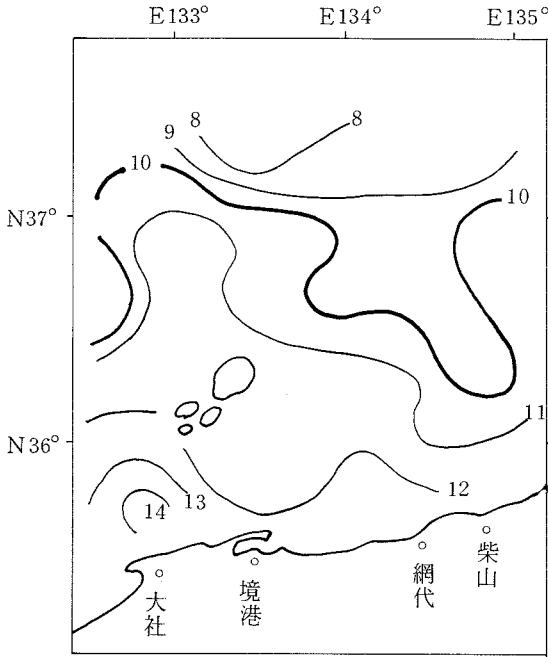
月	総漁獲高	延出漁統数	1日1統当り(トン)
1	11,632	95	122
2	9,121	130	70
3	7,528	115	66

表4 1978年境港市着網漁獲高(小型)

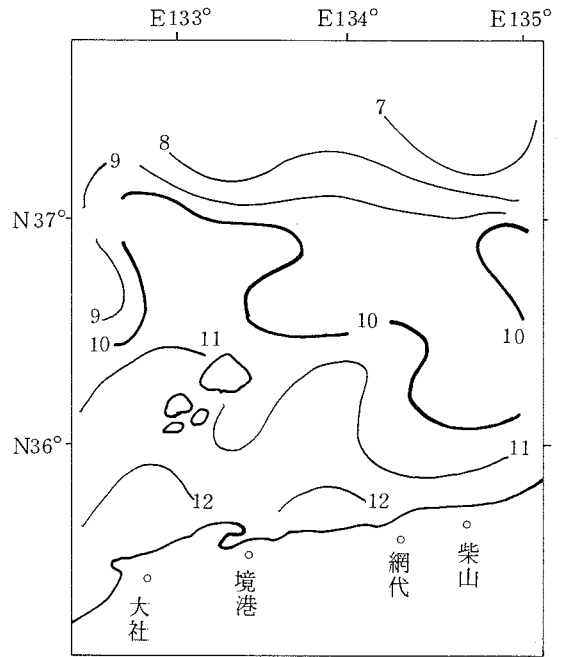
(注) ()内は%

月	かたぐち		まいわし		うるめ		さ		あ		じ		その他	
	漁獲高 (トン)	1日1統 当り(トン)	漁獲高 (トン)	1日1統 当り(トン)	漁獲高 (トン)	1日1統 当り(トン)	漁獲高 (トン)	1日1統 当り(トン)	漁獲高 (トン)	1日1統 当り(トン)	漁獲高 (トン)	1日1統 当り(トン)	漁獲高 (トン)	1日1統 当り(トン)
1	336 (77)	7.8	33 (6)	0.8	59 (14)	1.4	5 (1)	0.1	4 (1)	0.1				
2	99 (28)	3.5	238 (68)	8.5	8 (2)	0.3	2	0.1	4 (1)	0.1				
3	391 (16)	4.5	2,010 (80)	22.6			113 (4)	1.3	2				3	

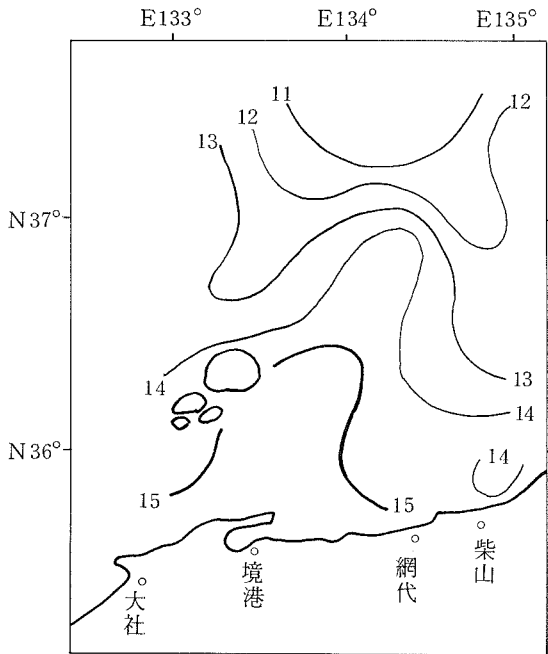
月	総漁獲高	延出漁統数	1日1統当り(トン)
1	437	43	10
2	351	28	13
3	2,519	89	28



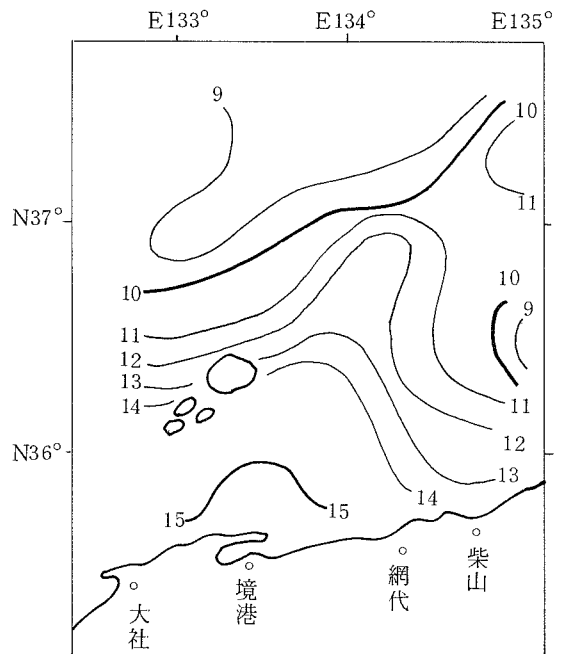
4月上旬 0 m層



4月上旬 50 m層

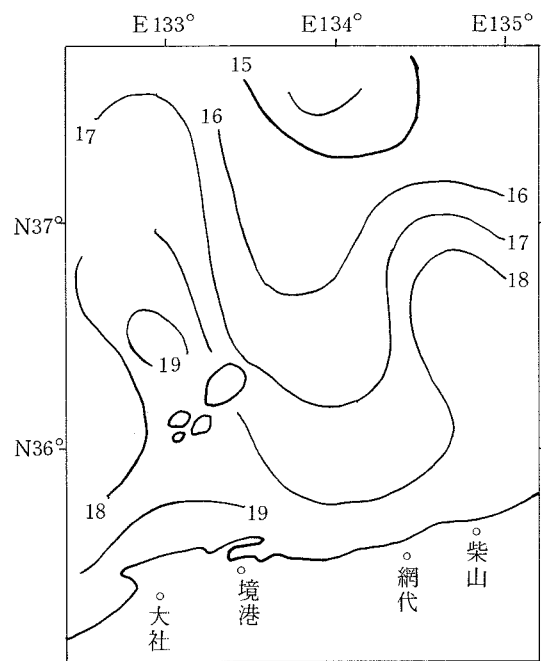


5月上旬 0 m層

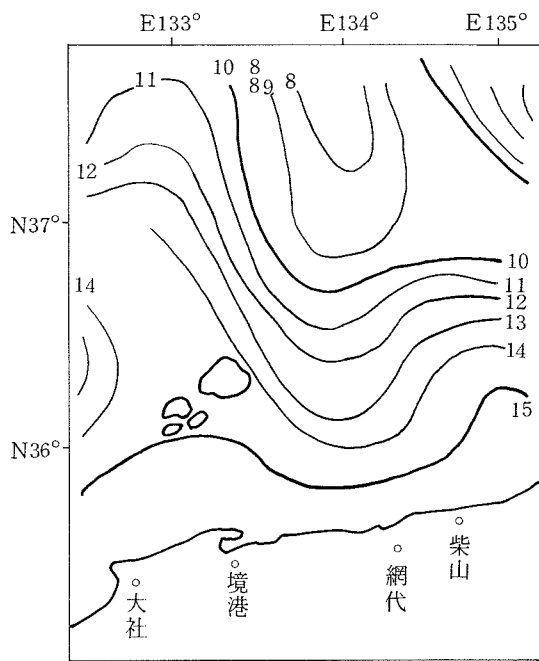


5月上旬 50 m層

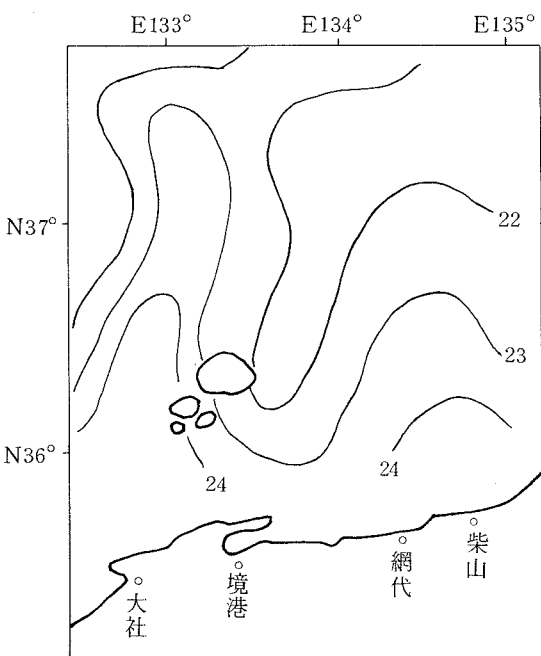
図13-(1) 鳥取県沖合の水温水層分布図



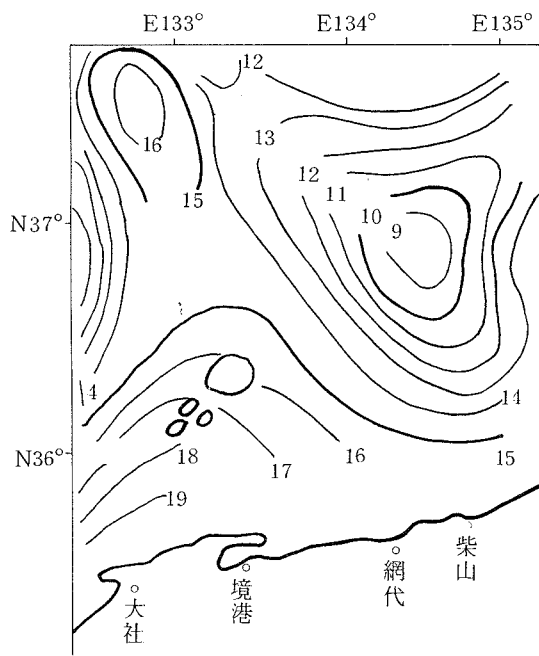
6月上旬 0 m



6月上旬 50 m層

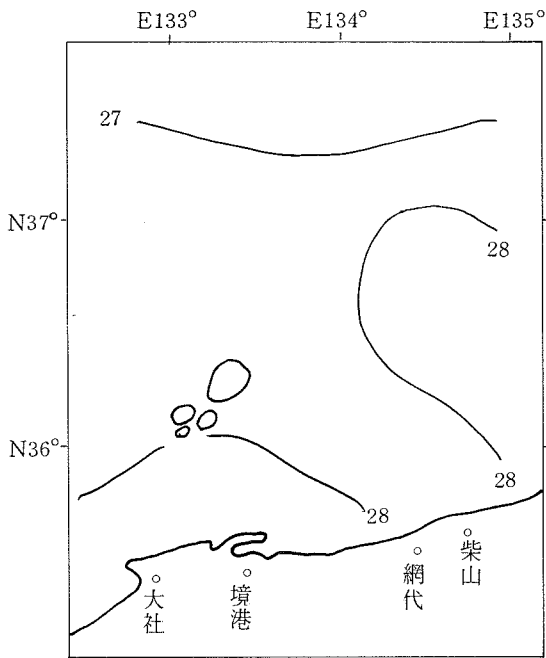


7月中旬 0 m層

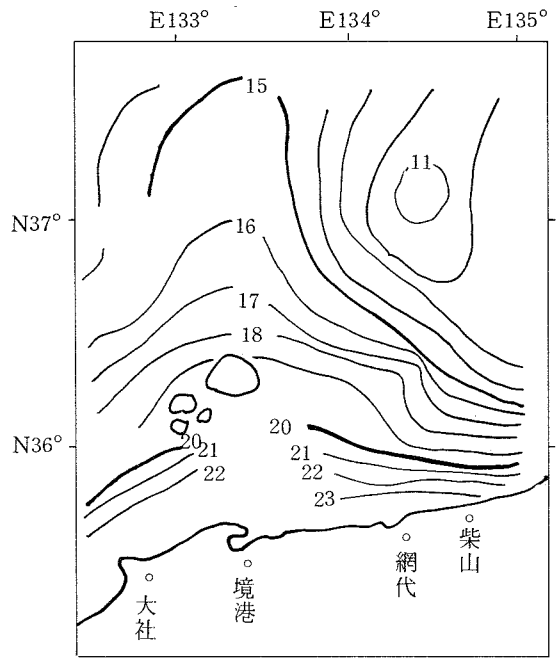


7月中旬 50 m層

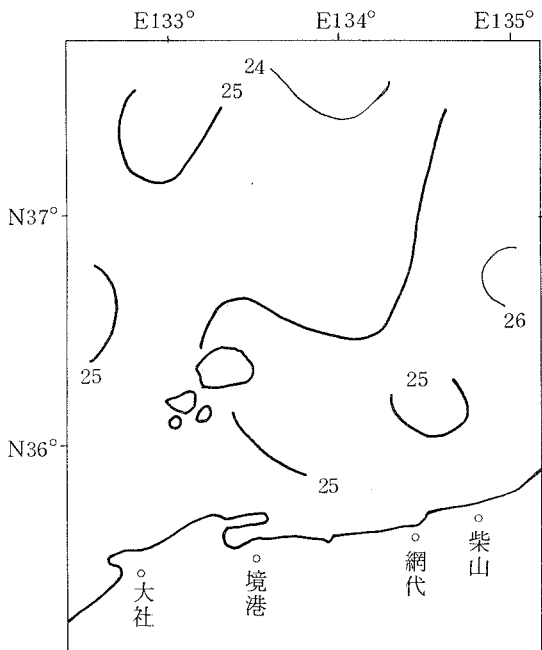
図1 3-(2) 鳥取県沖合の水温水平分布図



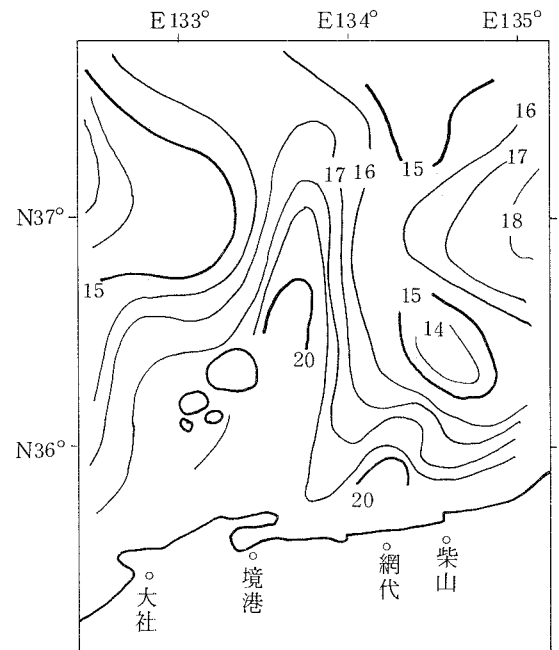
8月上旬 0 m層



8月上旬 50 m層

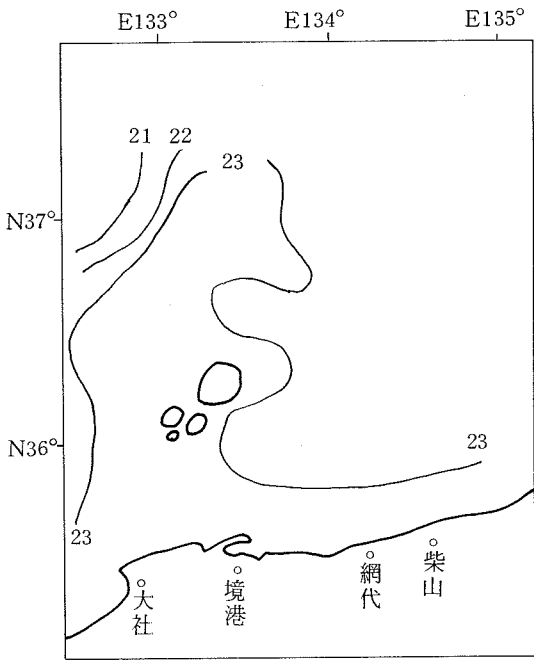


9月上旬 0 m層

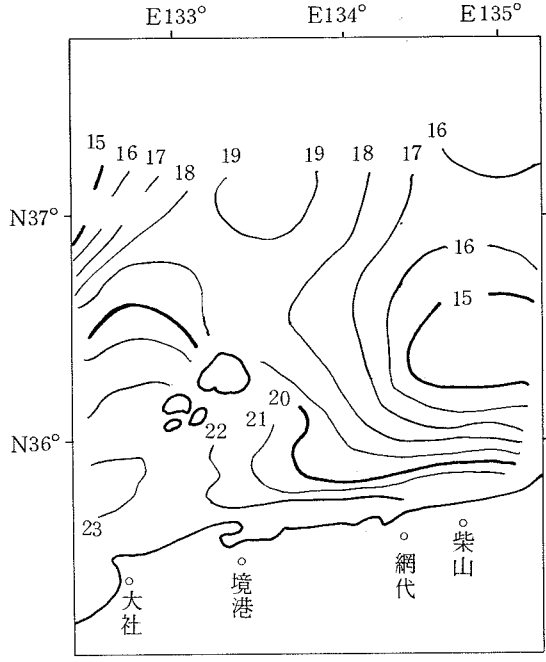


9月上旬 50 m層

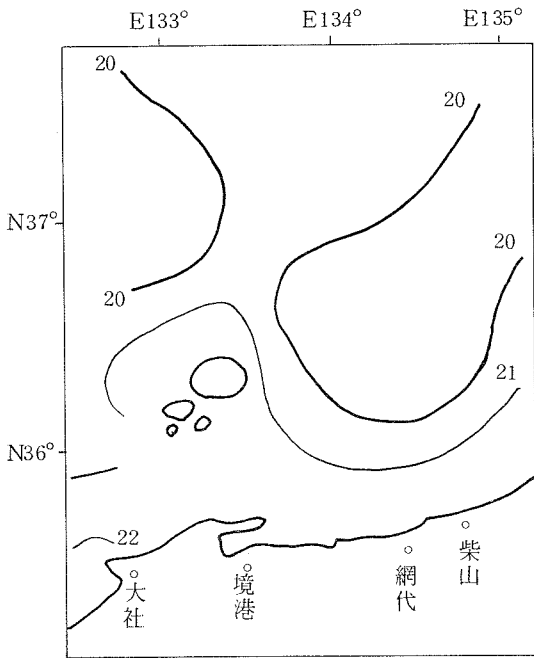
図13-(3) 鳥取県沖合の水温水水平分布図



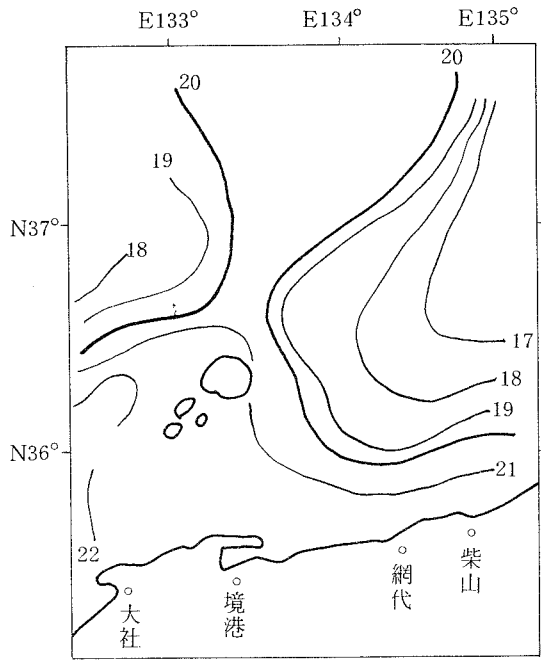
10月上旬 0m層



10月上旬 50m層



11月上旬 0m層



11月上旬 50m層

図13-(4) 鳥取県沖合の水溫水平分布図

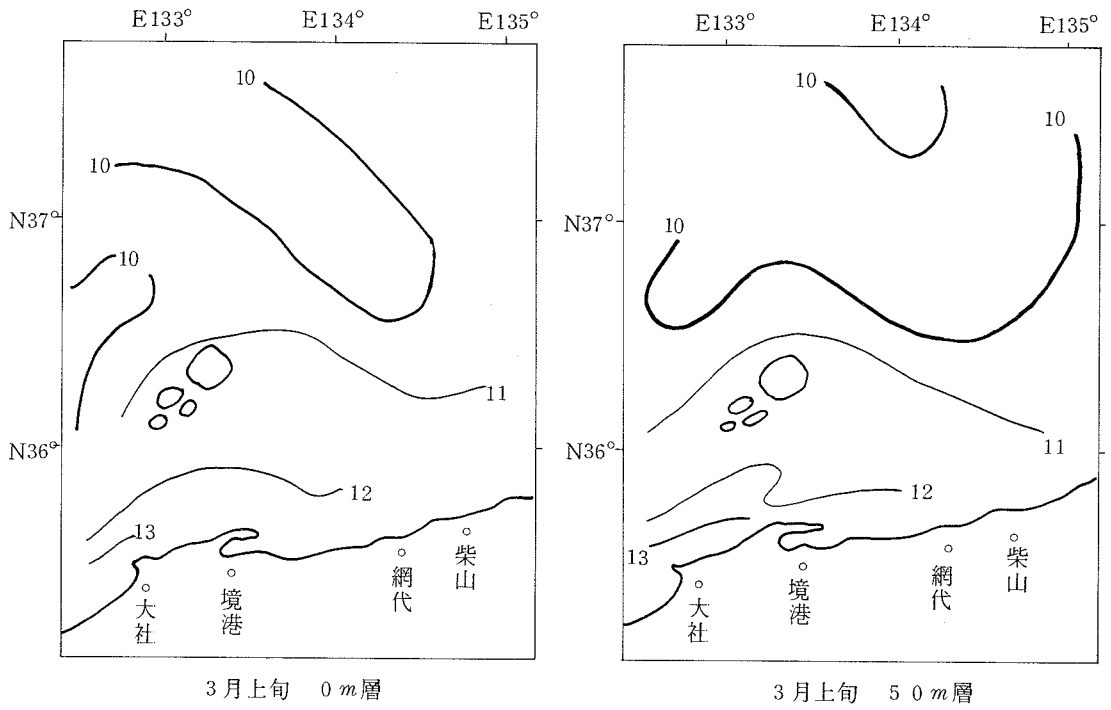


図13-(5) 鳥取県沖合の水溫水平分布図